

国道4号大玉地区景観検討

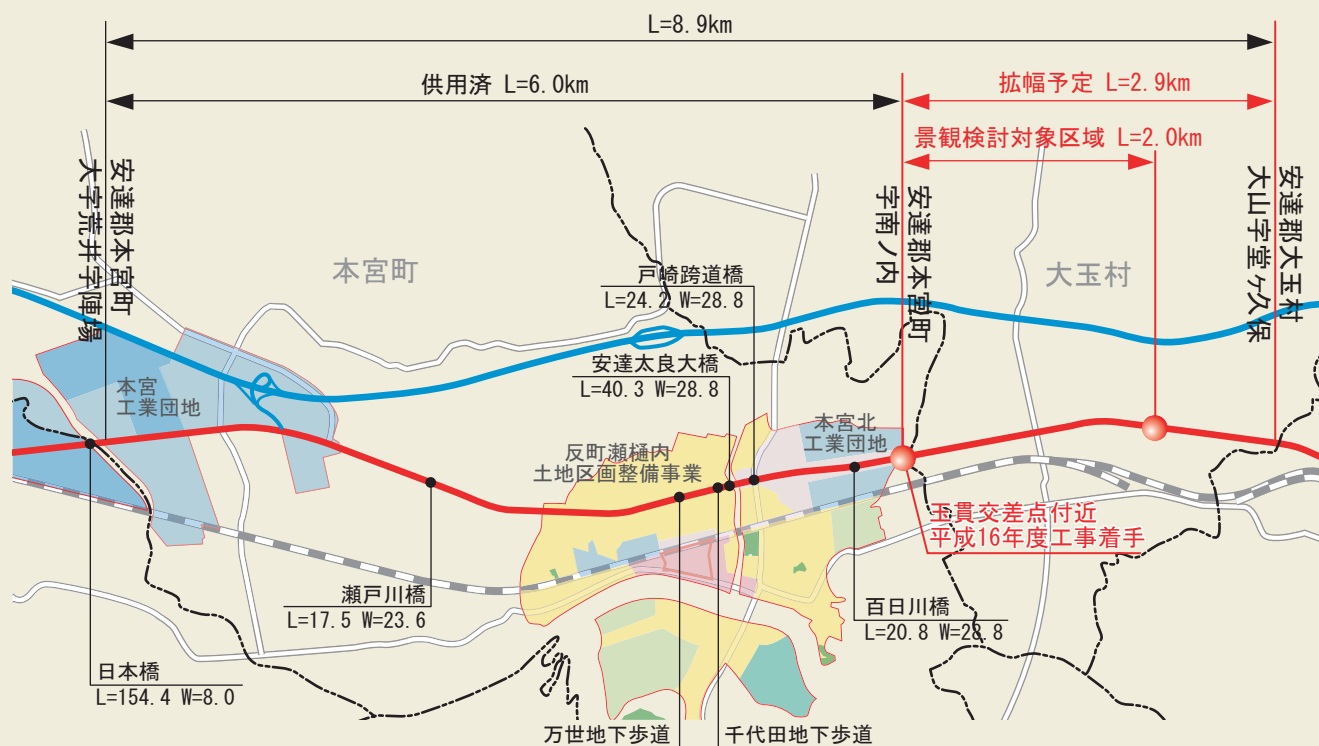
ニューズレターvol.1

発行/国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所

国道4号大玉地区景観検討の概要

国土交通省では、一般国道4号の大玉村～本宮町間で拡幅事業を進めています。

この事業は、道路の混雑緩和と交通安全の確保を目的に、片側1車線から2車線へと道路幅を広げるものです。



本宮拡幅事業全整備区間8.9kmのうち、6.0kmの整備が終わり、平成16年度から、2.9km区間の工事を開始する予定です。

沿道は、産業振興が期待される一方で、安達太良山への眺望が美しく、田園景観に配慮した開発が望まれる場所です。

そこで国土交通省では、地域の皆様と協力しあいながら、大玉地区がよりよい道路景観となるよう沿道の土地利用を考慮しながら検討を進めることとしています。

大玉地区景観懇談会

懇談会の目的

国道4号大玉地区の道路景観を検討するにあたっては、地域の代表者・学識経験者・道路事業者等を交えた懇談会を設け、そこで意見や要望をいただきながら道路設計や沿道土地利用に反映させていきたいと考えています。

委員の顔ぶれ

座長	堀 繁	東京大学アジア生物資源環境研究センター教授 (東北地方整備局「美しい国土づくりアドバイザー」)
委員	鈴木 浩	福島大学地域創造支援センター教授 (福島県「景観アドバイザー」)
//	溝口 俊夫	(財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団理事 (福島県「景観アドバイザー」)
//	渡辺 一郎	大玉村国道4号4車線化推進協議会会長
//	菊地 英郎	大玉村行政区長会会長
//	鈴木 静枝	大山婦人会会長
//	鈴木 誠一	大玉村景観保護審議会会長 (大玉村商工会会長)
//	松本 昇	大玉村景観保護審議会副会長 (大玉村農業委員会会長)
//	渡辺 豊	大玉村商工会青年部長
//	浅和 定次	大玉村長
//	渋谷 元	福島河川国道事務所長
//	菅野 光男	福島県県北建設事務所長

第1回国道4号大玉地区景観懇談会が開催されました

最初の懇談会が平成16年7月12日(月)福島ビューホテルで開催されました。

そこでは、①大玉村及び関連計画の概要、②一般国道4号本宮拡幅の概要、③大玉地区沿道景観検討について、④道路空間・沿道土地利用ガイドライン(案)についての話し合いが行われ、活発な意見が出されました。



懇談会のスケジュール

第1回懇談会（7月12日実施済）

現地調査（7月31日）

【道路景観診断・課題の共有化】

- ・道路景観診断の実施
- ・現況課題と地域のポテンシャルの共有化

第2回懇談会（8月下旬）

テーマ

どんな道にしたいか

【整備の方向性の協議】

- ・将来像の共有化
- ・整備の方向性についての議論

第3回懇談会（9月下旬）

テーマ

道の将来像を描く

【整備内容の協議・確認】

- ・将来像の具体化
- ・整備の内容についての議論

地元への説明

第4回懇談会（11月下旬）

テーマ

協働による道づくり

【整備の内容の確認】

- 【活動展開に関する意見交換】
- ・将来像の再確認
- ・協働できること、協働の試みについて議論

懇談会で出された意見

- ・道路景観診断は、本宮など既に整備が終わったところも行って反省の材料にしては。
- ・道路景観診断は啓蒙の意義もある（特に中高生を対象とするなら）。
- ・道が広くなることによって東と西の地域がどうなるだろうか。
- ・玉貫のあたりは安達太良山の眺望が優れていて宝物のような場所。本宮や郡山のようなどこにでも有る国道景観にはしたくない。
- ・道路景観には以前から取り組んでいるが、地域の皆様、県、村と一緒にできること、周辺の土地利用も一緒に検討できるのはありがたい。
- ・景観条例だけでは道路景観の向上に対して不十分。この懇談会で出てきたアイデアを事業者に示すなど、条例・法律では補えないことを事業者と話し合いを重ねていく必要がある。
- ・今後の開発で安達太良山の眺望が阻害されないか心配。
- ・建物の色、原色のもので出現しないか心配。
- ・ふれあい広場が一番眺望が良い。
- ・沿道に進出する企業がどれくらい協力してくれるか、地域に貢献するという枠組みをどう示してもらえかが課題。
- ・ドイツでは土地利用計画の後に、形についての指導があるが、日本ではない。土地利用計画だけでは良いものをつくれない。当懇談会で良い案を出すことが大事。
- ・まずは道路をどうつくるかが大切。

道路景観講演会

懇談会に先立ち、堀先生を講師に招いて道路景観についての講演会を開催しました。



大玉村・福島県・国土交通省の職員約50人の聴衆は、景観とは何か、道路景観整備のポイントは何かなどについて、熱心に聞き入っていました。

道路景観診断について

現地調査：道路景観診断を実施します

国道4号大玉地区の沿道景観を検討するにあたって、地域の皆様と道路事業者が現況の問題点を共有化するために、現在の道路景観を診断します。道路景観診断は地域の皆様から参加者を募って実施します。

よりよい道路づくり・地域づくりを目指し、多くの皆様のご協力をお願いします。

日時

7月31日(土)9:30~13:00

集合場所

大山公民館

道路景観診断って何？

道路景観診断は、実際に現地を歩きながら眺望を確かめ、感じたままを記録に残していくものです。

診断結果をもとに当地域にとって大事にすべきもの、改善しなくてはならないものを洗い出し、道路の設計に役立てようというのがねらいです。

道路景観診断シートの例

国道4号		大玉地区		起点 → 終点 No. 10A		調査日	評価者	所属
Q1 全体の印象をお書きください		良い景観である		普通の景観である		悪い、または残念な景観である		
全体の印象を決める際、重要な景観の要素は何でしたか								
Q2 お気づきの点をお書きください(例えば地域の歴史・文化など、背景の山並み・空・河川などの自然、丘の樹・花木・家並みなどの人工物などの具体的なものをから、季節感・開放感・静寂感などの感情、視覚的・聴覚的・交通制約の視覚性等と交通安全に関わる見方も構いません)								
景観構成要素*		3段階評価		良い評価や悪い評価の原因など、特筆すべき事項**				
道路本体：道路路案(区画線、舗装)		良い…普通…悪い						
歩道路盤		良い…普通…悪い						
Q3 道路景観を構成する各要素について、あなたが思う評価に○をつけ、良い評価や悪い評価の要素など、特筆すべき事項がありましたらお書きください		土砂り面・掘土のり面・土工のり面		良い…普通…悪い				
		舗装・ボックスカルバート		良い…普通…悪い				
		橋梁・トンネル		良い…普通…悪い				
		道路施設：ガードレール・車止め・転落防止柵		良い…普通…悪い				
		交通規制標識・案内標識(看板類)・信号機		良い…普通…悪い				
		その他：電柱・電線・送電鉄塔		良い…普通…悪い				
		街灯		良い…普通…悪い				
		道路植栽：樹木・草花等		良い…普通…悪い				
		沿道の緑：樹林、シンボルツリー等		良い…普通…悪い				
		広告看板：永久施設(大型看板・店舗看板)		良い…普通…悪い				
		その他：乗用車・自転車		良い…普通…悪い				
		開放的な空などの風景		良い…普通…悪い				
		遠方の山など		良い…普通…悪い				
				良い…普通…悪い				
				良い…普通…悪い				
				良い…普通…悪い				
*注：景観構成要素の例を参考にしてください。道路施設以外のものをのぞいても構いません。								
**道路景観の良い要素を維持、保全する方法や、悪い要素を改善する施策やその方法など、お考えのことがありましたらお書きください。								
位置図								
備考								

国道4号大玉地区景観検討に関するご意見・お問い合わせは

国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所工務第二課
〒960-8584 福島県黒岩字榎平36

TEL: 024-546-4331(代) FAX: 024-544-2497

HP: <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>